

付事。

一、在々の諸勸進令停止、其外費成儀無之様に可申付事。
 一、新ひらき仕度旨申百姓候はゞ、其百姓書付に、手合之十村奥書、郡奉行加裏書、算用場の斷、指圖次第可申渡事。
 一、檢地を乞申百姓候はゞ、其所の郡奉行罷越、様子見届候而算用場の可申斷事。

一、他國の參候もの、男之分致吟味、先に居留不申ものは、請人を立させ、越中境・大正持口留郡奉行過誓可遣事。

一、百姓地、相對を以地子におろし候儀者、可爲勝手次第事。

一、百姓火事に違候はゞ、松材木被下候間、其手合之十村に爲圖、十村書付に郡奉行致裏書、山奉行方より請取可遣事。

右被仰出之通相違有間敷者也。

萬治二年六月朔日 御印

今 枝 民 部
 津 田 玄 蕃
 奥 村 因 幡
 前 田 對 馬

郡 奉 行

三 知行米預置候藏宿縮之儀觸

御家中諸給人知行米預置候藏本御定之覺

金澤町中
 小松町
 鶴來町
 高松村
 今石動町
 水見町
 城ヶ端町
 高岡町
 福光村
 戸出村
 東岩瀬
 水橋
 滑川
 赤川

横 山
 泊 津 町
 魚 津 町
 七 尾 町
 飯 地 村
 道 下 村
 輪 嶋 町
 會々木村
 飯 田 村
 宇 出 津 町
 鷓 川 村
 中 居 村
 富 木 村
 子 浦 村
 飯 山 村
 今 濱
 神 代 川 尻
 堀 松 村

大 嶋 村
 羽 喰 村
 熊 木 村
 野 崎 村

一、諸給人知行米藏宿之儀、其所々御奉行相談を以、可預置之旨申觸候條、給人より斷次第、藏宿并請人之跡遂吟味、肝を煎、可然者に預置候様に可被致指圖事。

一、藏宿仕候者預り米有之内者、妻子など他所の不遣候様、常々十村与急度縮可仕旨可被申付事。

一、向後藏宿致引負候はゞ、藏宿并請人、或闕所或者殺害被仰付、不足米之分十人組より取立、給人に可被下候間、惡敷藏宿者十人組より遂吟味、御奉行の相斷候様に可被申渡事。

一、藏宿預り米を以手廻仕に付而、引負出來之由申候。左様之仕形近所之者兼而可存儀に候條、早速御奉行迄相斷候様に、急度可被申付候事。

一、藏宿共預米、惡米に替取候之様に沙汰有之候。其段藏宿爲致番紙、妻子・下人に茂、若惡米に替取、其外引負可仕